

令和5年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立臨海スポーツセンター		指定管理者：南海ビルサービス株式会社		指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価	
			S～C		S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目	平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	<p>①施設の設置目的に沿った運営</p> <p>②提案した管理運営方針に沿った管理</p> <p>③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み</p>	A	<p>①各種スポーツ大会等の実施により府民へスポーツの場を提供することができ、スポーツ振興を図ることができている。また、吹奏楽やマーチングバンドの練習会場にも定期的に利用を促すなど、文化振興にも寄与できている。</p> <p>②利用者アンケートのみならず、施設ホームページにお問合せページを作成し、利用者の意見や要望を取り入れることにより、施設利用者の目線で運営を行えるよう努めることができている。</p> <p>③社会貢献活動として、知的障がい者の継続雇用や地域イベント等への協力を通じて社会貢献ができている。整氷車の燃料をLPガスにするなど環境活動にも寄与できている。</p>	A		
		(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>①公平なサービス提供、対応状況</p> <p>②高齢者、障がい者等に対する配慮</p> <p>③感染拡大防止対策の徹底</p>	A	<p>①利用日の調整から各利用団体（者）への通知まで公平性を保って実施できており、施設のイベント情報についても広く開示することができている。</p> <p>②高齢者及び障がい者に対する利用体制を整えることができ、高い水準でのサービスが提供できている。</p> <p>③各出入口への消毒液や非接触体温計の設置などを継続しており、不安に思う利用者への対応もできている。</p>	A		
	施設の効用を最大限発揮するための方策	(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み</p> <p>②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 令和4年度実績：108,830人 令和5年度目標：168,000人 9月末現在実績：57,519人</p>	<p>①多くの利用者が見込まれる、有料行事の誘致を行った。アイススケートイベントの実施。</p> <p>②ホームページの更新を施設で行えるようにし、施設情報を随時発信できるようにした。LINEやTwitterを積極的に使い、情報発信を行った。駅構内にポスターの掲載、新聞紙面への掲載を行った。</p>	B	<p>①スケートイベントのみならず、プロレス興業の誘致をすることができている。</p> <p>②目標とする利用者人数には達しない見込みであるが、SNSを活用し、施設イベント等の情報発信を積極的に行うことができている。</p>	B	
(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果		<p>①提案のあったサービス向上策の取組み</p> <p>②自主事業の取組み</p> <p>③施設設備、機能の活用</p>	<p>①清算業務を電子マネー対応端末を導入し利用者満足を向上できた。開館時間の延長や休日開館を実施し、利用者ニーズを柔軟に対応できた。</p> <p>②広く自主事業への取組みを知ってもらうため、ホームページ、SNS、新聞紙面掲載、駅構内へのポスター掲載を行った。新規受講生獲得のため、イベントを行った。50周年イベントとしてアイススケートショー、バドミントン大会を開催した。</p> <p>③毎日、朝礼を行い、その日の行事や維持管理の情報を共有し、よりよく施設運が出来るようにした。毎月、スタッフ会議を行い、日々の業務の報告を行った。</p>	B	<p>①電子マネー対応端末の導入のほか、開館時間の調整により、満足度の向上につなげることができている。</p> <p>②教室の開催だけではなく、新型コロナウイルスの影響により延期となっていた50周年イベントを開催した。</p> <p>③朝礼やスタッフ会議を通して施設の状況や問題意識について共通認識をもち、管理運営に努めることができている。</p>	B		

施設名称：府立臨海スポーツセンタ	指定管理者：南海ビルサービス株式会社	指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
------------------	--------------------	-------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
I 提案の履行状況に関する項目	(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理	A	①年間予定表に添った維持管理を行うことができ、施設管理において補修が必要となる項目を把握することができる。 ②備品等のチェックを行い、保管場所について共有認識することができる。 ③緊急時の連絡体制を明確にすることができる。	A		
		②施設設備の安全管理					
③緊急時の危機管理体制							
	(6) 収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み	B	①新たな広告主の獲得は、実現していない。 ②収入確保に向けた取り組みを行っているが、広告収入の実績はない状況である。	C		
		②提案どおり実施されているか。					
その他管理に際して必要な事項	(7) 府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	A	①スポーツ振興に寄与している、 ②行政の福祉化の取組みとして、提案どおり知的障がい者の雇用率が達成できている。 ③協働の取組みとしてスケート発表会を開催することができる。また、高石市のイベントや地域祭礼へ積極的な協力をすることができる。 ④環境問題に重点を置き、LPガス仕様整氷車の導入やペーパーレス化等の取組みをはじめ、夏季には電気使用量の削減を行い、SDGsの17ゴールにおける11及び13のゴールに向けた取り組みができています。	A		
		②行政の福祉化の取組み					
		③市民・NPOとの協働の取組み					
		④環境問題への取組み					
I 総括		7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	B		

施設名称：府立臨海スポーツセンタ	指定管理者：南海ビルサービス株式会社	指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
------------------	--------------------	-------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
Ⅱさらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）	①ホームページにお問合せページを作成している。アンケートを実施。 ②施設の設備的な事案は、大阪府と情報共有を行い、協議を行い対応している	A	利用者の声を広くきく場として、利用者アンケートだけでなく、施設ホームページにお問合せページを作成し、声を聞く取り組みを行い、施設設備をはじめ、優先順位が高いものから対応を行っている。	A	
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取り組み 〔指標1〕自主事業参加者数 R4実績：5,249人、上半期実績：2,981人 R5目標：12,000人、上半期実績：9,080人 〔指標2〕自主事業収入状況 R4実績：28,917円、上半期実績：15,340円 R5目標：41,479円、上半期実績：17,763円	①教室受講生に対しアンケートを実施。教室内容の充実を図った。 50周年イベントアイススケートショー（5/21）を実施、約600名程度の利用。バドミントン大会（9/24）を実施、約350名の利用。 【アイススケートショー】チケット収入2,592千円 【バドミントン大会】参加料収入 792千円	A	①利用人数や利用収入は目標に届く見込みである。	A	
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取り組み	①駅貼りポスター、新聞紙面広告、地域商店へのチラシ、高石市イベントでのチラシ配布など新規顧客への販促活動を行った。施設見学（校外学習）に来られた小学校及び中学校への生徒に滑走無料券を配布し施設の周知を行った。プロレス興行（2回）実施予定。（12/8）（3/16）	A	①小・中学校の生徒へ無料券を配布することにより、施設の周知のみならず地域のスポーツ振興へも寄与できている。 またプロレスの誘致にも成功した。	A	
	Ⅱ 総括		3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A	

施設名称：府立臨海スポーツセンタ	指定管理者：南海ビルサービス株式会社	指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
------------------	--------------------	-------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	① 事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕 R5 収支計算書 ・収入 プロポーザル：198,615千円、見込み：165,000千円 ・支出 プロポーザル：198,615千円、見込み：198,615千円 ・納付金 プロポーザル：16,170千円、見込み：16,170千円	① 事業収支及び見込み 《令和5年度：対プロポーザル比》 収入：83.07% 支出：100% 納付金：100%	B	① 新規の興行は獲得したものの、収入額は目標に達しない見込みである。ただ、光熱費等の高騰により支出が増加しているが、指定管理者の努力により乖離はない見込みである。	B	
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	① 職員体制・配置 ② 管理監督体制・責任体制 ③ 指導育成、研修体制	①（提案時の職員体制）非常勤社員4名、正社員6名、嘱託社員2名、パート社員5名、臨時職員2名、合計19名（2023.4月現在）非常勤社員4名、正社員6名、嘱託社員2名、パート社員6名、臨時職員3名、合計21名 ② 支配人をセンターに常駐させ、経理部門、事業部門、維持管理部門全体を把握させ各部門の業務の調整を行なっている。管理監督責任体制を明確にしている。 ・毎日1回スタッフミーティングを実施。お客様からの要望、施設の維持、イベント等について、情報の共有を行っている。 ③ 個人情報保護、情報公開研修、人権啓発研修、リーダーシップ研修、救急救命講習会、OJT（随時）など職員の育成、スキルアップに努めている。	B	① 適切な人員配置により、円滑な管理運営体制を築くことができている。 ② 管理監督体制及び責任体制が明確化され、スタッフミーティング（毎月）の取り組みを行うことなどにより、円滑な施設運営を実施することができている。 ③ 職員研修でのテスト実施などを通じて、職員の育成、資質向上への取り組みがなされている。	A	
	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	① 法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 ② 法人等事業者の財務状況	① 事業者の運営基盤 南海ビルサービス株式会社 ビル、ホテル、空港などにおける設備機器の運転保守管理業務、客室整備、警備業務および清掃等衛生管理業務、駅・鉄道施設における駅務自動化機器および照明、放送等電気設備の保守管理業務・建築物における各種設備の改造、修繕、取替工事の設計、施工および工事請負・ビル、店舗、住宅、マンション等、リフォーム工事の設計、施工、監理 ・不動産の管理、賃貸借、売買および仲介 ・ビル・マンション等の管理 ・都市や宅地の緑化計画、土木外溝・造園・室内装飾の設計・施工、緑の維持・管理、緑のリース、フラワーショップの運営 ・高齢者専門宅配弁当事業 ② 2023年度財務状況 代表企業：南海ビルサービス株式会社 自己資本合計 8,736,844,734千円 資産合計 14,114,442,013千円 流動資産合計 11,286,612,612千円 流動負債合計 5,210,244,422千円 固定資産合計 2,827,829,401千円 純利益 556,126,072千円	① 事業者の運営基盤は、概ね安定していると認められる。	A	A	
Ⅲ 総括		3項目（12点満点）	B	3項目（12点満点）	A		
年度評価					B	年度評価	